

+++++
「植物と人々の博物館メールマガジン」 第48号 2018年10月1日発行
+++++

丹波山村に向かう多摩川の源流部は奥が深く、V字谷が切れ込んでいます。雲取山や大菩薩嶺に登る人が休日にはバスに乘りますが、普段、小菅の湯や丹波の終点まで乗る人はほとんどいません。この山岳道路の紅葉は美しいです。

秋野菜の良い苗は防虫用に寒冷紗を掛けても、多分コオロギが入り壊滅、涼しくなるとまたテントウムシダマシが襲来し、ズッキーニの葉はレースのようになりました。でも、今年は不思議なことにブヨには一度も刺されていません。サトイモは生育も良く美味しいです。自宅の庭ではミョウガが終わり、亀井さんにいただいたマイタケが今年も出してきました。

日本村塾ゼミで、自然のなかでの暮らしや生業について皆様と一緒にもっと学び、山村に暮らす楽しみ、人々の幸せや誇りについて語り合いたいです。都市民はもっと自然に親しまないと、人間でないものAIの下僕になってしまいます。会員および配信を希望される方に「植物と人々の博物館」の公開活動ニュースなどをお送りしています。なお、自然文化誌研究会の全体の活動は会誌「ナマステ」季刊でお知らせしています。友の会会員になっていただければうれしいです。また、顔見知り信頼のクチコミで友人・知人に転送伝達していただけるとありがたいです。

○報告

1. **食農教育座談会 2**: 小川分水を歩き、武蔵野うどんを食べる会。参加者5名。日時: 9月30日(日) 午前10時~午後2時、福田さんのご案内で、西武拝島線・多摩都市モノレールの玉川上水駅南口から玉川上水を下り、分水の流れを辿り、小川寺周辺の農家の佇まいも観察しました。その後、東村山の武蔵野うどん店に行き、台風24号が迫る中、雨が降る直前に立川行のバスに乗りました。
2. 「**憲法に環境原則を追加する提案**」についての研究会: 認定NPO法人環境文明21(憲法部会)で、8月28日(火)18時、JR大崎駅近く、東京都南部労政会館第一会議室、シンポジウムの準備について話し合いました。今後の予定は下記にあります。**憲法に環境原則を追加する提案**についての研究会: 認定NPO法人環境文明21(憲法部会)で、10月9日(火)18時、JR山手線大崎駅近く、東京都南部労政会館会議室、シンポジウムの準備について話し合います。
3. **FAO世界農業遺産「雑穀街道」申請準備**について: 9月6日と27日に、岡部良雄さんと一緒に丹波山村村長にお会いしました。2度とも小作駅まで送っていただいた車中を含めて、5時間ほどお話ししました。雑穀街道普及会への賛同については関係者と話し合い、検討して下さるようです。村役場の仕事分担からして、当座の仕事に追われ、申請作業を行うのは困難のようです。この点は、小菅村や上野原市の地域行政も同じような状況なのでしょう。従って、現況では、雑穀街道普及会として申請を目標にしながら、雑穀街道を普及する目的のために、住民や市民の自給農耕を勧め、若い世代に希望を託すことになるのでしょうか。

○予定

1. **開館作業予定日**: 2018年10月5日(金)、12日(金)、19日(金)、26日(金)、11月2日(金)の予定です。植物と人々の博物館/森とむらの図書室では、順次、図書・植物標本・資料や民具の展示解説をしています。ご利用くださるとともに、作業にご協力いただきたく、よろしくお願い致します。ご利用や協力いただける方は黒澤または木俣にメールしてください。ご都合に合わせて、上記以外でも日程調整します。場所は小菅村井狩集落バス停近く、細川邸の前、道の駅臨時駐車場の坂を下ってすぐです。
2. **食農教育座談会 3**: 次回は晩秋に開催する予定です。
3. 「**憲法に環境原則を追加する提案**」についての研究会: 認定NPO法人環境文明21(憲法部会)で、10月9日(火)18時、JR山手線大崎駅近く、東京都南部労政会館会議室、シンポジウムの準備について話し合う。現在の提案書(憲法前文と第三章環境を加筆)は次のホームページで読めます。

<http://www.kanbun.org/2017/170824teigen/170824teigen.html>

<私見木俣> 日本国憲法の3原則は「国民主権(民主主義)、基本的人権(自由・平等)、平和(友愛)であり、これらを補強し、未来社会を楽しくするためには新たに環境原則条項を加えて、食料安全保障をめぐる環境保全を確実にする必要があります。これは平和を維持し、飢餓を避けるもう一つの方法です。

仮の発表資料は下記で見られます。 <http://www.milletimplic.net/>

○環境文明21シンポジウム 憲法に環境(持続性)原則の導入を!! ~改憲論議は“9条問題”だけで

はない!~ (再掲)

この夏の猛暑・豪雨・大気の不安定などが示すように、地球環境が危機的に悪化し、貧困・格差など社会の持続性が危ぶまれています。しかし、現状の日本国憲法では、「環境」あるいは「持続性」について、一言も触れられておらず、次世代の子どもたちに、安心・安全で健全な環境を残すことが困難な状況です。シンポジウムでは、家族・地域・国レベルでの食の安全保障、リニア問題などの観点から、憲法に環境・持続性原則を導入することの必要性について、皆さんと議論します。そして、今こそ、日本国憲法に環境・持続性原則の導入の必要性を訴えましょう。大勢のご参加をお待ちしています。チラシは添付しますので、多くの方をお誘いください。

日時：11月6日(火)、受付11時開始、11時30分～14時30分

場所：衆議院第一議員会館 第一会議室 (定員50名)

主催：NPO法人環境文明21

プログラム(予定)

- (1) NPO法人環境文明21の提案についての説明 加藤三郎さん (NPO法人環境文明21顧問)
- (2) 話題提供「憲法に環境・持続性原則が導入されることで何が変わるか」
 - ① 家族・地域・国レベルの食料安全保障と環境
東京外国語大学AA研究所フェロー 木俣美樹男 さん
 - ② リニア新幹線の問題点
慶応大学名誉教授 川村 晁生 さん
 - ③ 諸外国の憲法における「環境」の位置づけ
中央大学教授 石野 耕也 さん
- (3) 全体討議 藤村コノエさん (NPO法人環境文明21代表)

4. **植物と人々の博物館** 学大探検部収集の民具類も整理・収蔵・展示しています。森とむらの図書室では日本の食文化・民俗関係を整理しています。順次資料のリストはホームページで公開しますので、ご利用ください。

5. **雑穀街道とFAO世界農業遺産** FAO世界農業遺産関連情報をお伝えするウェブページ『雑穀街道』では、雑穀街道普及会の賛同者を募っています。2年後にはぜひ申請できるように、賛同が広がるようにどうぞ援助くださいますようお願いいたします。FAO世界農業遺産ですから他地域や外国の方々も含めて賛同者を増やすように、一層のご助力をお願いします。下記ホームページに活動の現況や関連資料を順次更新していきます。世界農業遺産などに関する紙ベースの資料・図書は「植物と人々の博物館／森とむらの図書室」(小菅村井狩)で閲覧していただけます。

<http://www.milletimplic.net/milletworld/millstr.html>

なお、『日本雑穀のむら』序章で雑穀の栽培史、第4章で、雑穀街道地域の調査研究の成果(1974~2017)をまとめてあります。

<http://www.milletimplic.net/milletworld/millet/sn/jnmpilvil.html>

6. **日本村塾の自給農耕ゼミ、民族植物学ゼミ、扶桑こくゼミ**は、希望者があれば日時・場所・話題などを調整して、読書会を開催します。都市農業や家族農業の図書文献は森とむらの図書室(小菅および藤野分室)で閲覧できます。関連の講演資料や研究報告はホームページで読めます。

7. **民族植物学第11号**をご希望の方に差し上げますので、木俣宛メールください。

第12号は編集中で、2019年1月発行予定です。主な内容は、先真文明への覚書5、書評2編、活動記録2編ほかに論文2編です。次の第13号からは電子出版のみにする予定ですが、ご寄稿を歓迎します。バックナンバーは第7号~第10号まで少しあり、希望者に差し上げます。第1号から第11号まで、すべての記事pdfは植物と人々の博物館ホームページ(ミュージアムグッズ)で読めます。メールマガジンもすべて記録してあります。会誌ナマステは自然文化誌研究会のホームページで読めます。

8. 『雑穀の民族植物学—インド亜大陸の農山村から』は民族・信仰について学びながら、南アジアについて、個人の現地調査の体験をまじえながら、自由に書いています。現在はスリランカとバングラデシュの雑穀を研究会に参加し、文献を読んで、学んでいます。『日本雑穀のむら』は第3章関東地方の雑穀文化複合、補論2主食の起源を近日中に公開する予定です。『環境学習原論』および『第四紀植物』、“Essence of Ethobotany”はまだ非公開ですが、書き進めています。これらは、下記の雑穀・民族植物学関係個人ホームページで読めます。引用してくださる場合は、順次必要に応じて改訂していきますので、「木俣(2018未定稿)」としてくださるようお願いいたします。

自然文化誌研究会（東京都日野市）：代表 中込卓男、副代表 中込貴芳（東京）、小川泰彦（埼玉）

ミュージーズ研究会／トランジション小菅（山梨県小菅村）：代表 青柳諭、副代表 亀井雄次

植物と人々の博物館（山梨県小菅村）：館長 木下善晴

日本村塾生・研究員：木俣美樹男（東京）、西村俊（石川）、藤盛礼恵（千葉）ほか

雑穀街道普及会 <http://www.milletimplic.net/milletworld/millstr.html>

事務局長：黒澤友彦（山梨県小菅村） npo-inch@wine.plala.or.jp

公式 HP：自然文化誌研究会 <http://www2.plala.or.jp/npo-inch/>

植物と人々の博物館 <http://www.ppmusee.org/>

メールマガジン発行：木俣美樹男 kibi20kijin@yahoo.co.jp

雑穀・民族植物学関係の個人 HP:生き物の文明への黙示録 <http://www.milletimplic.net/>

写真



左は玉川上水の源頭、右は小川新田の現在（街道に沿って農家、畑、雑木林が配置されていたが、雑木林から開発が進んだ。）



左はハトムギとオカボの畑、右は逸出した路傍のシャクチリソバ（野生種）



左は武蔵野うどん、右は小菅村のソバ畑（普通の栽培種）